

令和 6 年 度
環境省 請負 業務

令和 6 年度
環境影響評価技術手法調査業務
報 告 書

令和 7 年 3 月

株式会社プレック研究所

目次

序 業務概要	i
1. 業務目的	i
2. 業務期間	i
3. 業務実施体制	i
4. 業務内容	ii
第1章 環境影響評価審査事業に係る累積的影響の評価・分析法 及び累積的影響に対する環境保全措置に関する情報収集	1-1
1. 諸外国における累積的影響評価の動向	1-1
(1) 学術論文数からみた諸外国における累積的影響評価への取組状況	1-1
(2) 北米及び欧州における累積的影響評価に係る制度の概要	1-1
2. 諸外国のガイドラインからみた累積的影響評価の一般的事項	1-4
(1) 収集対象としたガイドラインと整理項目	1-4
(2) ガイドラインからみた累積的影響評価の制度的側面	1-14
(3) 実施上の課題	1-25
3. 累積的影響評価の事例	1-27
(1) EIA・SEA 報告書の中の累積的影響評価の事例	1-27
(2) そのほかの累積的影響評価と管理の事例	1-31
第2章 ヒアリング調査	2-1
1. ヒアリング対象者と実施状況	2-1
2. ヒアリング結果	2-2
(1) 累積的影響に係る制度等全般について	2-2
(2) 我が国における累積的影響の実態や取組の現状と課題	2-6
(3) 生態系・生物多様性に係る累積的影響の評価について	2-12
第3章 累積的影響の基本的考え方と導入にあたっての課題	3-1
1. 調査から得られた累積的影響に係る基本的な知見	3-1
(1) インパクトと VEC	3-1
(2) 累積的影響評価の条件	3-2
(3) VEC の閾値(容認限度)	3-3
(4) 累積的影響評価と対象とする時間	3-5
(5) 累積的影響評価の検討エリア	3-5
(7) リスクの累積	3-6

(6) プロジェクト EIA の累積的影響評価と広域の累積的影響評価.....	3-6
2. 我が国の制度に位置づけるにあたっての課題	3-8
(1) 国や自治体の制度の中で運用する可能性	3-8
(2) 制度以外で累積的影響評価を活用する可能性	3-11
(3) ミティゲーション	3-12
(4) 技術的課題.....	3-16
3. 今後の取り組みの提案.....	3-19
(1) 環境影響評価法への導入を想定した枠組み検討に向けた取組	3-19
(2) 生物の広域累積的影響評価のケーススタディーの実施	3-19
(3) 景観の広域累積的影響評価のケーススタディーの実施	3-20
(4) 累積的影響評価運用の枠組みの可能性の検討	3-21